

参考地図 I 調査地点番号地図

Introductory Map I Map of the surveyed localities

全国に2400組の2桁の数字が散在している。これが日本語地図のための調査地点である。この数字は、次に示す「方言調査基礎図」のシステムによって定められた。各地点に与えた調査地点番号は、実は、たとえば1234.56のように、6桁の数字によって示される。この数字は、その下2桁の部分である。

方言調査基礎図による調査地点番号のシステム — このシステムは、建設省国土地理院発行の5万分の1地形図をもととしている。その理由は、この地形図が、現在の日本国に対して(1)もっとも詳細かつ網羅的、しかも一般的な地図であり、(2)経度・緯度(経度15'、緯度10')を正確に示している地図だからである。各調査地点に、地名以外に番号を与えた理由は、言うまでもなく(1)整理の便宜のためと、(2)地名に変更が多いためである。

5万分の1地形図の占める地域に番号を与える — 地図に示した小さいマス目、それぞれの5万分の1地形図の占める地域を示す。それぞれに4桁の番号を与えるが、そのためには、まずマス目100個をあわせて(マス目横10、縦10)、一定の地域を限る(経度2'30"、緯度1'40")。地図ではやや太い経線と緯線によって示した。この大きなワタごとに、それぞれ2桁の数字を与える。第1桁の数字が若いほど北に、第2桁の数字が若いほど西にある(ただし、南西諸島には、再び第1桁に若い数字が現われることに注意)。具体的数字は、おのおの、大きなワタの左上隅に示した。たとえば、北海道北端は野のワタに含まれ、近畿地方中心部は65、九州西端は72のワタに含まれる。

次に、大きなワタの中の小さなマス目100個に、それぞれ、左上から横に、右下に向かって「左横書き」の方式で、00から99までの、2桁の数字を与える。図には、黄色の数字で示してある。たとえば、中禅寺湖(栃木県)は37、淡名湖(静岡県)は59のマス目の幸にある。

かくて、大きなワタに与えた2桁と、小さなマス目に示した2桁の数字とを組み合わせて、それぞれの5万分の1地形図の占める地域の番号が決まる。たとえば、中禅寺湖を含む小さなマス目(すなわち国名:男体山)の番号は、5637である(なお、56は、37のマス目を含む大きなワタに与えた数字)。同様に、四国原野を含む5万分の1地形図(国名:原野)の占める地域の番号は、7449である。

調査地点に番号を与える — 調査地点の番号は、2桁の数字を、中に小数点をおいて組み合わせることによって示される。甲は、地点を含む地形図の番

号、乙は、地形図内の位置を示す数字である。後者は、次のように決定される。まず、地形図を占める地域を横・縦10等分し、計100個の網目(経度1'30"、緯度1')に分割する。それぞれの網目に、左上から横に、右下に向かって「左横書き」の方式で、00から99までの、2桁の数字を与える。これが最初述べた2400組の数字であり、すなわち、乙は、地形図内の位置を示す数字である。

たとえば、龍登半島北端をみると83という数字を発見できるが、この地点の正確な番号は4689.83である。4689は、いうまでもなく、この地点を含む地形図(国名:雄略)の占める地域の番号である。同様に、大隅半島南端の調査地点の正確な番号は、8372.87である。

なお、「方言調査基礎図」の詳細については、セリ「国立国語研究所年報」56-61 ppを参照されたい。

6649.55 といった、具体的な番号から調査地点をさがすには — 以上の説明でもわかるように、6桁の数字の最初の2桁は、小さなマス目100個をあわせた、大きなワタ(地図では、やや太い経線・緯線によって示してある)に与えた数字である。それぞれ数字は、各ワタの左上隅を見られる。まず、この2桁によって、調査地点の大体的位置をさがす。第1桁が若いほど北であるから、66なら、どちらかというところであろうであることがわかる(南西諸島に限って、02, 03, 11, 12, 20, 21といった、第1桁の若いワタが再び現われることに注意)。第2桁が若いほど西であるから、66なら東寄りであろう。かくて、66が、東海、南関東を含むワタの数字であることがわかる。

次に2桁は、ワタ内での小さなマス目を示す数字である。マス目ごとに黄色い数字で示してある。これも同じく第1桁が若いほど北であるから、49なら、まず中ほどであることがわかる。第2桁が若いほど西であるから、49なら、東端である。かくて、6649が、尾道半島南端を含むマス目(国名:尾道)に与えた番号であることがわかる。

小数点以下の2桁は、そのマス目内でさがせばよい。この場合も、第1桁が若いほど、北、第2桁が若いほど西である。かくて、6649.55という番号から、原城半島南端の調査地点(地名:千葉野安野郎の沢原白浜小字島崎)をさがし出すことができた。こころみに、6647.79という地点と、4637.20という地点とを、さがしていただきたい。前者は神島、後者は粟島である。